

## 令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

富山県

行事名称	国宝高岡山瑞龍寺特別消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和6年1月21日（日） 午前9時30分～10時30分
実施場所	高岡山瑞龍寺（高岡市関本町35）
主催者	高岡山瑞龍寺、高岡消防署、高岡市消防団高岡方面団

## ■実施内容

## 訓練の想定

未明に、高岡山瑞龍寺の仏殿内電気配線から出火した。  
初期消火を実施するも失敗し、折からの南東の強風にあおられ、風下の法堂及び北回廊へ延焼しようとしている。  
また、負傷者は確認中であるが数名いる模様

## 訓練の内容

瑞龍寺自衛消防隊による放水銃の放水、重要物品の搬出を実施。周辺地区自主防災組織による重要物品の搬出、負傷者の搬送を実施。消防署・消防団によるウォーターカーテン、無人飛行機情報伝達、放水等を実施。

## 参加者及び役割分担

瑞龍寺住職：発見、通報

高岡消防署（22名）：放水訓練、中継送水、延焼防止（ウォーターカーテン）、無人航空機による延焼監視、負傷者捜索

高岡方面団（10名）：放水訓練、延焼防止（ウォーターカーテン）

瑞龍寺自衛消防隊（15名）：放水銃による放水訓練、重要物品搬出

周辺地区自主防災組織（25名）：延焼防止、重要物品搬出、負傷者搬送

高岡市教育委員会（2名）：現場立会

## 特に工夫した点

延焼の発生を想定し、無人航空機による監視、ウォーターカーテンを実施。  
多くの住民を含む総勢80名以上が参加し、地域として防火、防災の意識が醸成された。

## 問題点・課題

機器の不具合で消火活動に遅れが生じないよう、定期的に点検を行うことが重要である。また、有事の際に迅速、適切な行動がとれるよう、日頃から災害への対応を心に留め、個々の役割を把握しておく必要がある。本年は雪がなかったが、大雪の場合にはこまめに除雪し、消火活動をしやすい環境を整えなければならない。

## その他

毎年文化財防火デーの前後に消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚が図られ、防火、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施していくことが重要である。

## 訓練風景



放水訓練



重要物品搬出